

一般質問通告書

令和6年 北秋田市議会 9月定例会

順位	2-2	質問者	16	小笠原 寿	(清明会)	出席を要求する理事者	市 長
質 問 事 項 及 び 要 旨						理 事 者 の 答 弁	
1. 防災計画について ①災害時の井戸活用のガイドラインの策定を 1) 長期の断水が続いた能登半島地震では民家などの井戸が水確保に効果的であったとされる。このことから大規模災害時において代替水源としての井戸の活用は有効な手段の一つであると考えられる。北秋田市でも「災害時協力井戸」の登録制度の実施を。 2) 登録制度のある自治体では個人の財産を活用するにあたって、井戸の修理や水質検査、ポンプなど備品購入の費用を補助する例もある。策定に向けて助成制度の考えは。 2. スポーツ振興について ①誰でも気軽に体を動かせる環境づくりを 1) スポーツを通じた健康増進の取組みは、将来の医療費抑制にも貢献すると考えられる。公園内などに高齢者も使用できる、ロッキングボード・フットストレッチ・アスレチックベンチなどの、体を鍛えることや健康づくりを目的とした大人用の健康遊具を設置できないか。 2) 少子化が急激に進む中、部活動運営が難しくなっている。これまで日本ではスポーツと勝利至上主義が強く結びつけられたために、子どもを含む多くの人が気軽に運動を楽しむことが阻まれてきた面もあるのではないかと。空き校舎を含めた校庭や体育館の開放など、少子化の中、1人でも遊べる充実したスポーツ環境を提供できないか。 ②ボードパークの建設について 1) オリンピック競技が多種多様になった現在、興味があっても地域に環境がない種目がある。スケートボードやBMXができる屋外・屋内施設を整備することによって競技に興味を持つ若者が増え、同時に交流人口の増加が見込まれると思うが市長の考えは。							

3. 観光振興について

①森吉山周辺観光振興について

- 1) 全員協議会において、森吉山荘については本館のみを活用し、温泉や食事提供なしの簡易宿泊施設として再開する案が提出された。環境の変化を踏まえた再稼働の方向性が示されたが、温泉なし、食事サービスなしとなると運営方式がこれまでと大いに異なることになる。稼働率や収支をどの程度の数字と捉えているか。
- 2) 今定例会で設備等調査委託の予算を計上しているが、再開するにあたっては2年間の休止の影響により多額の整備費用が予想される。費用対効果を鑑み、再開のめどをどのくらいの修繕費であれば実施できると考えているか。
- 3) 奥森吉の多彩な自然を楽しむためのアウトドアゲートとしての森吉山荘の再稼働ということであるが、アウトドア愛好者にとってさらにより良い場所があるのではないかと考える。具体的には「四季美湖畔公園」内に国・県と連携して情報を発信するツーリストセンター機能を備えた「森吉山ビジターセンター」、「カヌー・カヤック」などのアウトドアフィールドの整備、アウトドア愛好者のためのシンプルで快適な「宿泊機能」とスポーツを楽しんだ方も利用できる「シャワー施設」、併設して現在人気のある「キャンプ場」などの整備を行えば、奥森吉方面に向かう方と森吉登山に向かう方の双方にとって利用しやすいアクティビティ施設になりうると思うが市長の考えは。